

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
メディカルケア概論	3年次	必修	講義	1単位（15時間）	小丸 圭一
授 業 概 要					
医療のニーズに対応できる検査情報を提供するため、臨床に直結した栄養及び薬理に関して学習する。また、高齢化の進展によって増加している認知症の検査や評価、及び認知症患者の心理について理解を深める。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養サポートにおける臨床検査の役割を理解できる。 ・様々な薬物療法と各種治療薬の体内動態について理解できる。 ・認知症医療における臨床検査技師の役割を理解できる。 					
実務経験のある教員					
寺島 健：病院での臨床経験を踏まえ、認知症検査について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	臨床栄養学 1：年齢と栄養				大友 崇
2	臨床栄養学 2：疾患と栄養サポートについて				
3	病態薬理学 1：検査用薬剤と臨床検査に影響を及ぼす薬物				小丸 圭一
4	病態薬理学 2：各種器官、病態に作用する薬とその薬理作用				
5	病態薬理学 3：薬物動態とその評価（有効性・安全性含む）				
6	認知症検査 1：検査の注意事項と患者接遇				寺島 健 ※
7	認知症検査 2：認知機能の評価尺度、行動・心理症状の評価尺度				
8	認知症検査 3：検査結果の解析とその評価				
学 習 方 法					
常に臨床検査値の変動を考慮しながら学習すると理解が深まる。					
評 価 方 法					
項目別のレポート課題（100%）の提出をもって評価する。					
先 修 科 目					
基礎分野、専門基礎分野及び専門分野のうち、1年次及び2年次に担当されているすべての必修科目					
教科書、参考書					
配付資料により講義を行う。					
<p>〔参考書〕</p> <p>日本臨床栄養代謝学会 JSPENテキストブック（編集：一般社団法人日本臨床栄養代謝学会 出版：南江堂）</p> <p>ハーバード大学講義テキスト臨床薬理学（監修・翻訳：渡邊裕司 出版：丸善出版）</p> <p>認知症ハンドブック（編集：中島 健二 出版：医学書院）</p>					